

総合計画上の位置付け

施策の大綱	生活環境の充実	施策の目的	安全な暮らしを確保する	施策	消防・救急
-------	---------	-------	-------------	----	-------

主要事業と関連部署

施策の方向	事業名	部署名
消防体制の充実	消防車両の更新	防災危機管理課
火災予防の強化	火災予防・防災意識の啓発	防災危機管理課
救急・救助体制の充実	地域医療体制確保事業	保健推進課

目標

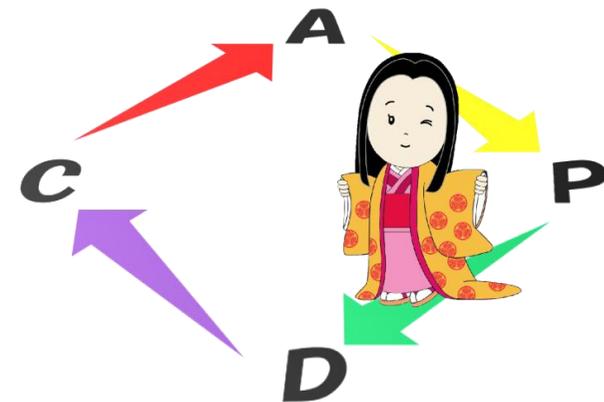
指標名	指標の考え方	方向性	2017年	2022年
消防・救急体制に対する市民満足度	2017年実施の市民意識調査による「満足」, 「やや満足」の割合	後期基本計画策定のための市民意識調査による「満足」, 「やや満足」の割合の5%上昇を目指す。	27.5%	32.5%
普通救急講習受講者数	年間受講者数	普及・啓発を進め, 受講者数の増加を目指す。	190人	減少

令和2年度の実施状況への意見

行政改革懇談会(市民)からの意見

地域消防の担い手が減少している中, 消防団の活動には敬意を表したい。活動への支障が生まれないよう, 事業充実や拡大に配慮いただきたい。

目標の達成状況



事業の説明

事業名	消防車両の更新			
担当	防災危機管理課			
予算科目	一般会計			
	9款	1項	3目	1事業
事業の目的	前更新より20年を経過した消防車両について、最新鋭の車両に更新することにより、市民生活の安心・安全を確保する。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	生活環境の充実
施策の目標	安全な暮らしを確保する
施策	消防・救急
施策の方向	消防体制の充実

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	21,110千円
	うち 特定財源	21,000千円
成果目標		34.8 %
実施内容と改善点		
消防団第12分団の車両更新を実施する。その際、可能な限り各分団の意向を取り入れた仕様になるよう努める。		

令和2年度	決算額	41,585千円
	うち 特定財源	39,300千円
成果実績		30.4 %
当初の成果目標		30.4 %
実施内容と改善点		
消防団第3分団、第10分団の車両を更新した。その際、可能な限り各分団の意向を取り入れた仕様になるよう努めた。		

令和元年度	決算額	41,475千円
	うち 特定財源	39,200千円
成果実績		21.7 %
当初の成果目標		21.7 %

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	消防団第3分団、第10分団、2台の車両を計画どおり更新した。
分析	各分団の意向を取り入れた、より良い形での車両更新ができたと考える。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--

成果指標	
消防団消防車両23台の内、更新済率	
単位	%

【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		%
実施内容		

今後の成果目標	
令和5年度	令和6年度
%	%

NEXT CYCLE

事業の説明

事業名	火災予防・防災意識の啓発			
担当	防災危機管理課			
予算科目	一般会計			
	9款	1項	2目	2事業
事業の目的	住民一人ひとりに火災予防の意識高揚を図ることにより、火災件数を減少させる。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	生活環境の充実
施策の目標	安全な暮らしを確保する
施策	消防・救急
施策の方向	火災予防の強化

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	114千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		45 件
実施内容と改善点		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋季・春季火災予防運動での啓発広報活動 ・ イベントでの消防車両展示, 消火体験 ・ 空気乾燥期や強風時における警戒広報活動 ・ 学校等における防火教室 ・ 住宅用火災警報器の設置調査, 呼びかけ 		

令和2年度	決算額	114千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		50 件
当初の成果目標		50 件
実施内容と改善点		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋季・春季火災予防運動での啓発広報活動 ・ 空気乾燥期や強風時における警戒広報活動 		

令和元年度	決算額	114千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		58 件
当初の成果目標		58 件

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	コロナ禍の影響により、イベントや防火パレード、学校等防火教室は中止になったが、ウイルス対策をした上でできる限りの啓発・警戒広報活動を行った。
分析	少しずつではあるが、住民の火災予防に対する意識は高揚してきているものとする。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		件
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
件		件

事業の説明

事業名	地域医療体制確保事業			
担当	保健推進課			
予算科目	一般会計			
	4款	1項	1目	4事業
事業の目的	県救急医療体制に基づく地域内の病院群が輪番制方式により、休日・夜間における入院治療を必要とする重症救急患者の受入体制を確保。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	生活環境の充実
施策の目標	安全な暮らしを確保する
施策	消防・救急
施策の方向	救急・救助体制の充実

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	22,112千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		21 病院
実施内容と改善点		
【二次救急】常総地域病院群輪番制病院運営事業(大人), 常総地域小児救急医療輪番制病院運営事業(小人), 茨城西南地方広域市町村圏事務組合の輪番制の対応(病院群輪番制-大人, 小児救急医療輪番制-小人)		

令和2年度	決算額	21,890千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		21 病院
当初の成果目標		— 病院
実施内容と改善点		
【一次救急】休日夜間急患センターの運営をきぬ医師会に委託。		
【二次救急】常総地域病院群輪番制病院運営事業(大人), 常総地域小児救急医療輪番制病院運営事業(小人), 茨城西南地方広域市町村圏事務組合にて病院群輪番制(大人), 小児救急医療輪番制(小人)の対応。		

令和元年度	決算額	22,313千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		21 病院
当初の成果目標		— 病院

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	重症救急患者に対応する救急医療の知識や経験を持つ医師が常駐している医療機関を確保する。
分析	一次救急で対応できない救急患者の受入ができる病院群は必要である

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--

成果指標	
現在の医療機関の維持	
○二次救急の輪番病院数	
①大人:8医療機関	
②小人:2医療機関	
③大人:7医療機関	
小人:4医療機関	
単位	病院

【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		病院
実施内容		

今後の成果目標	
令和5年度	令和6年度
病院	病院

NEXT CYCLE